

令和7年10月8日

報道関係者

出版関係者 各位

国立民族学博物館

広報企画会議長 山中 由里子

報道関係者と民博との懇談会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本館の広報活動については、平素から格別のご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、本館の研究や展示についての旬な話題をより詳しくお伝えするために、標記懇談会を下記のとおり開催いたしますので、ご多用のこととは存じますが、是非ご出席くださいますようご案内申し上げます。

なお、今回の懇談会については、館内の会議室での開催にあわせて、Web 会議システム（Zoom）による配信を行います。懇談会は事前申込制とさせていただきますので、別紙の報道関係者と民博との懇談会参加申込書に必要事項を記載のうえ、10月14日（火）までにメールにてご返信ください。

来館での参加を希望される方は、本紙を印刷、またはスマートフォンで表示した画面を自然文化園窓口（車両の方は迎賓館口）にてご提示ください。同園内を無料でご通行いただけます。

敬具

記

日 時：令和7年10月16日（木）15:30 ～ 17:00 第1会議室

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続き館長室にてご懇談ください。

○主な話題

- ・ **みんなく クラウドファンディング挑戦『国立民族学博物館 | 1000年の時を越える文化財。海を渡り日本へ』**（話者：寺村裕史 准教授）
- ・ **公開フォーラム『世界の博物館2025』**（話者：末森薫 准教授）
- ・ **【館外開催】公開講演会『アジア・交錯する信仰と民族——共在のありかたを探る』**（話者：奈良雅史 准教授）
- ・ **最新の研究『大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館と奈良県立民俗博物館との学術交流・協力に関する基本協定』**（話者：日高真吾 教授）
- ・ **最新の研究『変わり者たちの秘密基地』**（話者：樫永真佐夫 教授）
- ・ **展示解説 企画展『フォルモサ∞アート ——台湾の原住民藝術の現在（いま）』**（話者：野林厚志 教授）

※話題の詳細については、別紙「話題一覧」をご参照ください。

報道関係者と民博との懇談会参加申込書

報道関係者と民博との懇談会に、

ZOOM にて参加する

来館して参加する

貴社名 _____

御職名 _____

御芳名 _____

メールアドレス (ZOOM 参加者のみ)

(こちらのアドレスに ZOOM のミーティング用 URL を送付します。)

【ZOOM について】

- ・ ZOOM 参加メールは後日に配信します。メールに ZOOM のミーティング用 URL を記載しておりますのでご確認ください。
- ・ 10 月 16 日 (木) 15:15 から接続が可能となりますので、参加メールに記載の URL からミーティングルームにお入りください。
- ・ ミーティングルームに入室の際はご所属と氏名をご表示ください。

※事前に ZOOM アプリのインストールをお願いします。

※懇談会開始時に参加者全員に強制ミュートをかけさせていただきます。

※懇談会中はミュート設定をオンにし、音声がでないようにお願いします。

質問や発言をしたい場合、ミュートをオフにいただければ司会者が指名します。

不適切な発言等により進行に支障が生じる場合は退室いただく場合がございます。

報道関係者と民博との懇談会

2025 年 10 月 16 日(木)15:30～17:00

話題一覧

懇談会

1. 挨拶

— 関 雄二（館長） —

2. ニュースリリース

●みんなくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 山中 由里子（議長） —

3. みんなく クラウドファンディング挑戦「国立民族学博物館 | 1000 年の時を越える文化財。海を渡り日本へ」

国立民族学博物館は、READYFOR（レディーフォー）株式会社と連携し、ウズベキスタンの世界遺産「カフィル・カラ遺跡」より出土した考古遺物の日本初公開を目指し、クラウドファンディングへの挑戦を開始したことをお知らせいたします。

火災をくぐり抜けた、奇跡の木彫板。

日本人が発掘に関わった、シルクロードのロマンを日本へ。

タイトル：国立民族学博物館 | 1000 年の時を越える文化財。海を渡り日本へ

募集期間：2025 年 9 月 16 日（火）10:00～11 月 17 日（月）23:00



— 寺村 裕史（学術資源研究開発センター 准教授） —

4. 公開フォーラム「世界の博物館 2025」

10 カ国・地域、11 名の博物館専門家が所属する博物館の活動や課題を報告しながら、互いに問題点を共有し、検討します。

日 程：2025 年 11 月 1 日（土）13 時～16 時 45 分（12 時 30 分開場）

会 場：本館 2 階第 4 セミナー室

主 催：国立民族学博物館／独立行政法人 国際協力機構

定 員：60 名（要事前申込み／先着順）

参加費：無料

【申込期間】10 月 23 日（木）まで



— 末森 薫（人類基礎理論研究部 准教授） —

5. 【館外開催】みんなく公開講演会「アジア・交錯する信仰と民族——共在のありかたを探る」

中国のイスラームと台湾の民間信仰に注目し、宗教と民族の地域横断的な関係や、民族や宗教の異なる人びとがいかに共にあることができるのかを考えます。

日 程：2025 年 10 月 31 日（金）
18 時 30 分～20 時 40 分（17 時 30 分開場）
会 場：日経ホール（東京）
趣旨説明・講演 1：奈良雅史（本館 准教授）
講演 2：藤野陽平（慶應義塾大学 教授）
パネルディスカッション：
藤野陽平×島村一平（本館 教授）×奈良雅史
主 催：国立民族学博物館／日本経済新聞社
定 員：600 名（要事前申込み／先着順）
参加費：無料
【申込期間】10 月 22 日（水）まで
※館外での開催となります。オンライン（ライブ配信）あり



— 奈良 雅史（学術資源研究開発センター 准教授） —

6. 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館と奈良県立民俗博物館との学術交流・協力に関する基本協定

奈良県立民俗博物館が収蔵する民俗資料の保存活用計画と、収蔵・保存対策を講じる体制の構築に関する研究の実施を目的として、基本協定を締結しました。

— 日高 真吾（学術資源研究開発センター 教授） —

7. 最新の研究紹介

『変わり者たちの秘密基地』

(桧永真佐夫 監修、ミンパクチャン 著/CE メディアハウス)

「収蔵点数 34 万超！ 展示場全長 5 キロ」の国立民族学博物館は、どのような博物館であり、研究所であるのか、インタビューに基づく内側の視点から一般読者に対してわかりやすく示したノンフィクションです。



— 桧永 真佐夫 (超域フィールド科学研究部 教授) —

8. 展示解説 企画展「フォルモサ∞アート——台湾の原住民藝術の現在 (いま)」

現在開催中の企画展の見どころを展示場にて解説します。

(ZOOM でのライブ配信も予定)

会 期：12 月 16 日(火)まで

会 場：本館企画展示場

観覧料：一般 780 円、大学生 340 円、高校生以下無料

※観覧料割引についてはホームページでご確認ください

※本館展示もご覧いただけます



— 野林 厚志 (グローバル現象研究部 教授) —



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp